



Research Complex

リサーチコンプレックス推進7.0プログラム

産学官金
プレイヤー間の
インタラクション活性化

最先端の研究開発・
事業化・人材育成の
一体的な推進

地域ビジョンの
設定・実現

本プログラムは、世界に誇るイノベーションの創出を目指し、地域に集積する産・学・官・金のプレイヤーが共同でビジョンを掲げ、国内外の異分野融合による最先端の研究開発、成果の事業化、人材育成を一体的かつ統合的に展開するための複合型イノベーション推進基盤（リサーチコンプレックス）を形成し、地方創生にも資することを目的とします。

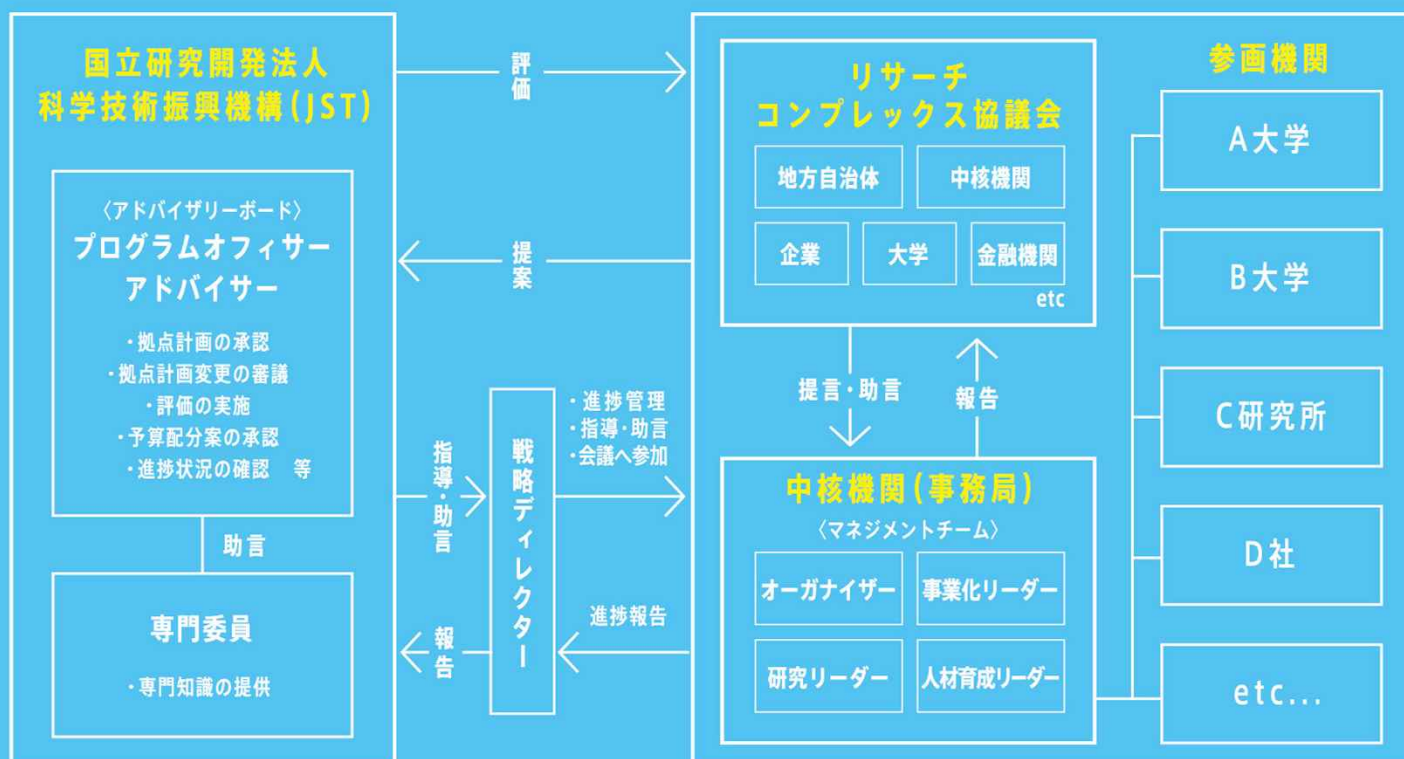
事業ツール

リサーチコンプレックスがビジョンを実現するためのツールは以下の5つです。

全てのツールを駆使し、プレイヤー間のインタラクションを活性化させるメカニズムを構築し、更なる成長を実現。



推進体制



健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス



「将来にわたり健康で“生き活き”とした人生を送りたい。」誰もが思うこの願いに「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」は、最先端研究の成果を社会に送り出す活動で応えたいと考えています。

理化学研究所を中核とした研究機関・大学から研究人材を結集し、最先端の研究で「健康維持・増進」の要因を分子・細胞・身体レベルで明らかにしていきます。

そして研究から得られる“ヒト”に関する膨大なデータを解析し、コンピューター上で将来の健康状態を予測するシステムを構築。個人レベルで将来の健康予測が可能となる「健康羅針盤」の提供を指しています。

この取り組みを通して得られる新たな知見やデータは、健康関連産業の大きな基盤を形成し、新たなサービスや製品など、あらゆる業界へ波及が期待されます。同時に、ビジネスアイデアの創出や事業化促進への仕組みづくり、人材育成システムの構築を行い、神戸を中心とした関西に「健康科学に基づいたビジネス」の大集積拠点（リサーチコンプレックス）を形成します。

「個別健康の最大化」を目指して

生涯現役で活躍したい！
健康“生き活き”は
みんなの願い・社会の願い

私たちの健康生活を取り巻く課題

- ・少子高齢化・健康の社会格差
- ・健康不安の増大
- ・国民総ストレス
- ・溢れる健康情報とその選択基準

最先端研究とイノベーションで挑む

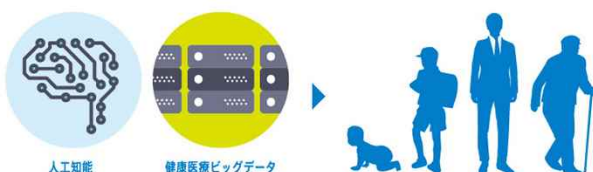
健康“生き活き”羅針盤
リサーチコンプレックス

高精度に健康データを収集



健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックスの施設内で健康計測会を実施

個人の健康状態のモデル化・将来予測



人工知能とビッグデータを使い健康予測を可能にするシミュレータの開発

器官を工学的に再現する技術の開発



ナノ（10億分の1）メートル単位の技術を駆使して再現している、「人体を模倣した細胞培養チップ」（予想図）

場の連携

「イノベーションエコシステム」



事業創出をけん引する人材の育成



新たなヘルスケアビジネス創出のため、その原動力となる人材を育成する教育プログラムを実施

□ オーガナイザー

渡辺 恭良

（平成30年1月現在）

□ 提案機関

理化学研究所（中核機関）・兵庫県・神戸市・京都大学・神戸大学・兵庫県立大学・阪急阪神ホールディングス株式会社・日本電気株式会社・塩野義製薬株式会社・シスメックス株式会社・株式会社三井住友銀行

世界に誇る社会システムと技術の革新で新産業を創る Wellbeing Research Campus

慶應義塾大学を中核とし、自治体、大学・研究機関・企業と協働し、殷町の4つの中核技術領域を中心に、統合的データサイエンス基盤「Person-centered Open PLatform for wellbeing」の構築、異分野融合研究とその成果に基づく事業化の促進、ヘルスケア分野のアントレプレナーやデータサイエンス人材の育成等を一体的に進め、ライフサイエンス・情報・ものづくりを融合した技術革新と社会実装の加速化による新分野や新産業の創出に取り組みます。

Our Vision

Global Wellbeing Innovator

世界に先駆けて経験する超高齢社会の課題に向き合うことを通して、持続的に世界中の人々のウェルビーイングを高め、より魅力的で豊かな生活を実現させるための知見と製品・サービスを生み出します

Data-driven Innovation for Wellbeing

ライフサイエンス・情報・ものづくりを融合、異分野の優れた研究成果を統合的にデータサイエンスによって有機的に結び付け、技術革新と社会実装の加速化により新分野や新産業を創出し、社会へ提供します

Sustainable Research Campus

首都圏や羽田空港に近接して立地する強みを生かし、アカデミアや産業界との活発な交流を促し、基礎研究から創出されたシーズを社会実装に繋げる役割を担います

融合研究

Wellbeing Research

殷町WRCが世界を先導する4つの中核技術領域

分子設計ナノファブリケーション
再生・細胞医療 実験動物
AIと連携するヘルスケアOS
ロボット医療機器

事業化支援

Wellbeing Incubation

首都圏、地域のアカデミアで生まれるライフサイエンスシーズの社会実装に必要なメンターとアントレプレナーの育成と集積に重点を置いたサポート機能を整備します

基盤整備

Wellbeing Platform

人々のウェルビーイングを支えるあらゆる取組を対象に、データサイエンス、情報基盤によるウェルビーイングプラットフォームの構築を行います

人材育成

Wellbeing School

慶應義塾大学、東京大学、東京工業大学などアカデミアと地域の企業・研究機関がジュニアからアントレプレナーまでの一貫した教育プログラムを構築し、慶應義塾大学が運営を行います

🔍 オーガナイザー | 青山 藤詞郎

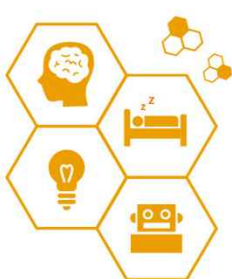
🔍 提案機関

慶應義塾大学（中核機関）・川崎市・神奈川県・横浜市・大田区・東京大学・東京工業大学・横浜市立大学・神奈川県立産業技術総合研究所・富士フィルム株式会社・CYBERDYNE 株式会社

(平成30年1月現在)

i-Brain×ICT「超快適」スマート社会の創出 グローバルリサーチコンプレックス

けいはんなリサーチコンプレックスでは、i-Brain(脳科学・人間科学)の研究成果の豊富な蓄積と高度なICT(情報通信技術)を融合し、現在のAIでは未だ十分に解明・活用されていない脳科学分野の研究開発を戦略的に推進すると同時に、平安、活力、共感など、「ココロ」の豊かさ向上に着目した「超快適」につながる新たな技術・サービス等を社会実装することにより、人のココロに寄り添う「次世代型スマートシティ」の実現を目指します。



「モノの豊かさ」から「ココロの豊かさ」へ



事業化支援・ イノベーションハブ活動

- 共創型プロジェクトの創出
既存企業の事業化支援・
ベンチャーの事業化支援・グローバル展開
- けいはんなの豊富なインフラの活用と充実
KICK(けいはんなオープンイノベーション
センター)の活用
ベンチャー支援インフラの充実、
研究設備の共同利用

異分野融合研究開発

- ヒトの最適を創発する知的環境デザイン
- ライフスパンの心身快適モニタリング
- 心に共感を生み出す快活インタラクションライフ

「超快適」実証フィールドの構築



人材育成

～プロデューサ人材の育成～

- けいはんな地域を一体化して、
バーチャルキャンパスを構築
- この場を活かしてプロデューサ人材
(自らプロジェクトを立案・実行)を育成
- 人材が渦巻き、様々な自己研鑽の機会・
ヒトとの出会い・事業のチャンスが
溢れる地域を実現

五感情報を制御可能な 実証実験室

メタコンフォート・ラボ

データの収集・分析・制御



Room1



制御室



Room2

○ オーガナイザー | 細井 裕司

(平成30年1月現在)

○ 提案機関

関西文化学術研究都市推進機構(中核機関)・京都府・情報通信研究機構(NICT-CiNet)・
奈良先端科学技術大学院大学・同志社大学・奈良県立医科大学・オムロン株式会社・
サントリーホールディングス株式会社・株式会社島津製作所



Research Complex



国立研究開発法人
科学技術振興機構

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) イノベーション拠点推進部 COI グループ リサーチコンプレックス推進プログラム担当
〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町 TEL 03-5214-7997 e-mail rc@jst.go.jp <http://www.jst.go.jp/rc/>